

# 主日礼拝

2025年2月9日  
午前10時30分

## 前奏

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「主よ、あなたの道をお教えてください。  
 わたしはあなたのまことの中を歩みます。  
 御名を畏れ敬うことができるように  
 一筋の心をわたしにお与えください。  
 主よ、わたしの神よ  
 心を尽くしてあなたに感謝をささげ  
 とこしえに御名を尊びます。  
 あなたの慈しみはわたしを超えて大きく  
 深い陰府から  
 わたしの魂を救い出してくださいませ。」

(詩編 86:11~13)

## 頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に  
 グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

## 「招き」のリタニー 『世界の礼拝』p53より

司式者：主よ、わたしたちの唇を開けてください。

会衆：わたしたちの口はあなたをほめたたえるでしょう。

司式者：主よ、わたしたちを助けてください。

会衆：わたしたちの神よ、

わたしたちの避け所いでてください。

司式者：主よ、わたしたちにあなたの慈愛を示してください。

会衆：わたしたちにあなたの平和を与えてください。

司式者：わたしたちの主なる神、

あなたは今日という日を創られました。

会衆：喜びにあふれ、主の祝祭を祝いましょう。

## 賛美 6-1,2 「つくりぬしを賛美します」

We praise You, o God  
調：Julius B. C. Cory, 1882-1963  
曲：Nederlandsch Gedenckclanck, 1626  
KREMSER

1 つくりぬしをさんびします。  
 2 全能のかみをさんびします。  
 みまえにすすみひれふし、  
 あらしとなみをしずめて、  
 ささげます身もたましいも、  
 こころみにうちかつちから  
 きよい主のみ名を感謝して。  
 あたえるめぐみに感謝して。

1 つくりぬしを <sup>さんび</sup>賛美します。 2 <sup>ぜんのう</sup>全能の神を <sup>さんび</sup>賛美します。  
<sup>まえ</sup>み前に <sup>すす</sup>進み <sup>ひれ</sup>ひれふし、 <sup>あらし</sup>嵐と <sup>なみ</sup>波を <sup>しず</sup>しずめて、  
 ささげます <sup>み</sup>身も <sup>たま</sup>たましいも、 <sup>こころ</sup>こころみに <sup>うち</sup>打ち勝つ力  
 きよ <sup>い</sup>い主の <sup>な</sup>名を <sup>かん</sup>感謝して。 <sup>あた</sup>与える <sup>めぐ</sup>恵みに <sup>かん</sup>感謝して。

## 祈禱

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
 み国を来らせたまえ。  
 みこころの天になるごとく  
 地にもなさせたまえ。  
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
 我らの罪をもゆるしたまえ。  
 我らをこころみにあわせず、  
 悪より救い出したまえ。  
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
 なればなり。  
 アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエエレイソン キリエエレイソン  
 しゅよあわれみを しゅよあわれみを  
 キリエエレイソン  
 しゅよあわれ - - い ソン  
 しゅよあわれ - - み を

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
 しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

# 聖書 マタイによる福音書 13:10~17

新約(新共同訳)P24~P25

10 弟子たちはイエスに近寄って、「なぜ、あの人たちにはたとえを用いてお話しになるのですか」と言った。11 イエスはお答えになった。「あなたがたには天の国の秘密を悟ることが許されているが、あの人たちには許されていないからである。12 持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。13 だから、彼らにはたとえを用いて話すのだ。見ても見ず、聞いても聞かず、理解できないからである。14 イザヤの預言は、彼らによって実現した。

『あなたたちは聞くには聞くが、決して理解せず、見るには見るが、決して認めない。

15 この民の心は鈍り、

耳は遠くなり、

目は閉じてしまった。

こうして、彼らは目で見ることなく、

耳で聞くことなく、

心で理解せず、悔い改めない。

わたしは彼らをいやさない。』

16 しかし、あなたがたの目は見ているから幸いだ。あなたがたの耳は聞いているから幸いだ。17 はっきり言うておく。多くの預言者や正しい人たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞きたかったが、聞けなかったのである。」

## 賛美 430 「とびらの外に」

O Jesus, Thou art standing  
詞 : William W. How, 1823-1897 曲 : Justin H. Knecht, 1752-1817, Edward Husband, 1843-1908

1 とびら-のそとにたちつづけて  
2 かたく-とぎした戸をたいて  
3 わたし-のために死んだイエスの

すくい-のイエスはまっておられる。  
いまな-おイエスはよびつづける。  
そのあ-われみをなぜこばむか。

主 イエスのあいのそのかさよ、  
主 イエスのあいのそのひろさよ、  
かたくとぎした戸をひらいて

われら-のつみのそのふかさよ。  
ひと-のこのころのそのよわさよ。  
このころ-のなかに主を迎えよう。

1 とびらの外に 立ちつづけて 2 かたく閉ざした 戸をたいて  
救いのイエスは 待っておられる。 今なおイエスは 呼びつづける。  
主イエスの愛の その高さよ、 主イエスの愛の その広さよ、  
われらの罪の その深さよ。 人の心の その弱さよ。

3 私のために 死んだイエスの  
その憐れみを なぜ拒むか。  
かたく閉ざした 戸を開いて  
心の中に 主を迎えよう。

## 説教 「伝わる言葉」

## 賛美 510 「主よ、終わりまで」

O Jesus, I have promised  
詞 : John E. Bode, 1816-1874 曲 : Arthur H. Mann, 1850-1929

1 主よ、おわりまで しもべとして  
2 この世のさかえ目をまどわし、  
3 しずかにきよいみこえにより  
4 主はやくそくをかたぐまもり、

あなたにつかえし、たがいます。  
うわくのこえ、みこえ、と、  
おたりください、主よ、みこえを。  
おわりの日、まてみち、びか、れる。

世のたたかいははげしくても、  
てきはそとにもうちにもある。  
こころのあらしふきあれても、  
わたしはここにちかいをたて、

主がみかたならおそれはない。  
おまもりください、主よ、わたしを。  
おきかせてください、主よ、みこえを。  
主よ、おわりまで、し、たがいます。

1 主よ、終わりまで しもべとして  
あなたに仕え したがいます。  
世のたたかいは はげしくても、  
主が味方なら 恐れはない。

3 静かにきよい み声により  
お語りください、主よ、みことば。  
心のあらし 吹きあれても、  
聞かせてください、主よ、み声を。

2 この世のさかえ 目をまどわし、  
誘惑の声 耳に満ちて、  
敵は外にも 内にもある。  
お守りください、主よ、私を。

4 主は約束を かたく守り、  
終わりの日まで みちびかれる。  
私はここに 誓いを立て、  
お守りください、主よ、終わりまで したがいます。

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

アーメン アーメン アーメン

## 後奏

司式 塩冶 みはる  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。